

■氏 名:ニコラス・マツカラ

■国 籍:アメリカ

■出身地:カリフォルニア州モンレー市

■趣 味:読書、音楽鑑賞、ハイキング、

カヤック

■着 任:2021年9月13日



□自己紹介

皆さん、Hello! 初めまして、アメリカのカリフォルニア州出身の仁湖楽寿(ニコラス)・マツカラと申します。この度、松江市役所の国際観光課に所属することになりました。このような機会を頂けてとても光栄です。

私は物心がついた頃から、ゴジラの映画、日本風の建築、玄関で靴を脱いで置く習慣などいろいろな形で日本文化に触れてきました。その中でも特に印象的だったエピソードの一つをここで紹介します。それは私がまだ中学生だった頃、祖母を訪ねた日の話です。当日、他の親戚も訪れていて、その親戚から日本の捕鯨の歴史的な背景をテーマとした本をもらいました。その本の中には鯨の一種の図表があり、それぞれの部位が漢字で表記されていました。私はそれを見た瞬間、「日本語は私の知っている英語と全く違う!」と初めて意識して、日本語に対する好奇心がまるで間欠(かんけつ)泉(せん)が噴出したように湧いてきました。

その出来事から大学時代まで日本語を学習する機会は一度もありませんでしたが、高校 4 年生の時に教師の勧めで「海辺のカフカ」という小説を読んでみた結果、日本近代文学に興味を持ちました。また、言語学を熱心に勉強した影響で、二十歳の頃に日本語の学習を始め、その 2 年後日本語と日本文化を専攻することにしました。

その後、岡山大学に約一年間留学していたとき、初めて日本語のみの授業を受けながら倉敷の美観地区にあるホステルでアルバイトをしました。日本語だけではなく、日本の接客業や「おもてなし」という概念などについて体験することで、近い将来に似たような環境で働きたいと思うようになりました。

趣味はたくさんありますが、一般的なものから始めれば読書、音楽鑑賞、ハイキング、カヤックなどが最初に浮かびます。それ以外にも野球観戦(大谷翔平選手の所属しているロサンゼルス エンゼルスの大ファン)が好きです。また、言語学習をすることも趣味の一つで、母国語の英語や日本語はもちろん、初心者ですが韓国語にも大学時代から興味を持っています。これからは、「水の都」の松江市に住むことになったことをきっかけに、釣りのしかたを改めて学ぼうと思っています。

繰り返しにはなりますが、松江市で CIR として働ける機会を与えて頂けたことを心から感謝しています。皆さんの期待に応えられるよう一生懸命頑張りたいと思います。それでは、皆さんと交流できる機会を楽しみに待っています! よろしく願いいたします。